



社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい
緊急一時保護ユニット オリーブ
ファミリーホーム 三愛茜の里

令和1年度事業報告

【法人理念】 神を愛し 人を愛し 土を愛す

【養育目標】 思いやりのある子

令和1年度事業報告

施設長総括

令和1年度も沢山のことがありましたが、年度終盤の新型コロナウイルスの問題で全てかき消されてしまった感がいたします。しかし、過ぎた日々の歩みを振り返っていきますと、例年通り子どもたちと職員の安心・安全が守られたこと、楽しかったことや苦しかったことの連続の中に人知を超えた神様の導きやお守りがあったことを実感しています。特に法人の中期事業計画の仕上げとして、多くの方々のご理解とご支援を頂きながら自立援助ホーム「三愛子ひつじ寮」を生み出したことは、大きな喜びであり感謝な出来事でした。また、令和1年度も必要な新任職員が確保され4月1日の時点で入所児童が定員一杯の状態ですスタートすることができました。この必要な職員を確実に確保するという強みは、過ごしやすい生活の場として設計された園舎、丁寧な実習生のケア、そして積極的な情報発信の結果です。今後もこれを強みに生かして行きたいと思います。

一方、課題としては、発達障害や愛着障害等の理由で増々児童のケアワークが困難となっている中で、職員のストレスケアが追い付いてゆけなかったことが挙げられます。このことは真摯に受け止め、新年度からの対応を強化してゆきます。

子どもたちへのケアワークの成果としては、3年前から参加を再開した埼玉県児童福祉施設親善球技大会（ソフトボール大会）のBブロック（職員2名が守備要員で参加できるルール）で、並みいる強豪チームを抑えて見事優勝したことを挙げたいと思います。これはグループワークとして多くの子どもたちが参加し真摯に練習に取り組んだことや中高生たちを中心としたチーム力の賜物です。そのチーム力は台風19号の際にも発揮されました。10月12日、気象観測始まって以来という超大型台風の直撃を受け、降りしきる大雨で子どもたちの生活するユニットが床上浸水一歩手前まで迫っていました。排水ポンプはフル回転していましたが降雨量の方が多く水量は増すばかりでした。そんな時に職員と中高生男子が外に出て夜10時近くまでバケツで排水作業をしてくれたのです。そのお陰でギリギリ浸水を逃れることができました。

また昨年度は、小さな時からさんあい生活していた4名の児童が無事に高校を卒業し退所して行きました。それぞれの進路は様々ですが、みんな希望する方向に進みました。退所当日は、みんなで玄関に集まって最後の挨拶を交わしました。見送る職員も見送られる子どもにも特別な思いがこみ上げたに違いありません。可愛かった幼児期、楽しいことを沢山共有した小学生当時、手に負えなかった思春期。色々ありましたが、みんなよくここまで成長してくれました。その成長を支えてくれた職員一人ひとり（退職した方々を含め）に感謝の思いで一杯です。

退所する児童がいれば入所する児童もいます。新たに入所した児童にとっては激動の1年であったに違いありません。沢山の人たち、しかもそれまでの生活習慣や家族背景が違う子どもたちと職員が生活を共にするので、この1年ですっかりここでの生活に慣れ楽しく生活しています。

施設には家庭にもあるように安心・安全で衝突や不平等を避けて楽しく生活するためのルールがあります。しかし家庭と違うところは人数が多いことです。誰にとっても100点満点な生活環境を作るのは難しいのですが、少しでも100点に近づけるよう新年度も子どもたちと職員で意見を出し合って生活して行きたいと思います。

令和1年度事業報告

1. 入退所児童データ（青木FSW）

①入退所児童数（H31. 4. 1～R2. 3. 31）

月	在籍数	入所	入所理由	退所	退所理由	一時保護	一時保護理由	一時保護解除	一時保護解除理由
4	36	2	離婚1 未婚1			2	帰宅拒否1 虐待1	4	家庭引取3 保護所1
5	36					8	虐待7 保護希望1	2	家庭引取1 保護所1
6	36					1	虐待1	1	家庭引取1
7	36					4	虐待4	5	家庭引取4 保護所1
8	36					3	虐待1 母子関係1 養育困難1	3	家庭引取3
9	36					1	虐待1		
10	36					3	虐待3	3	家庭引取3
11	35			1	里親1			1	家庭引取1
12	36	1	虐待：身1			3	虐待1 母入院2	1	家庭引取1
1	36					3	虐待1 離婚家庭2	3	家庭引取2 施設入所1
2	36								
3	36	6	虐待：ネ1 虐待：身1 経済1 未婚1 里親1 精神1	7	自援2 自立2 家庭3	1	虐待1	2	家庭引取2
合計	431	9		8		29	虐待21 入院2 離婚家庭2 その他4	25	

②退所先別（H31. 4. 1～R2. 3. 31）

退所先	男の子ブロック	女の子ブロック	一時保護ユニット
家庭	2	1	21
里親委託		1	
自立（進学）	1	1	
自立援助ホーム	1	1	
措置変更（施設）			1

令和 1 年度事業報告

一時保護所			3
合計	4	4	28

③児童相談所別児童数 (R2. 3. 1)

児童 相談所	中央	南	熊谷	川越	越谷	所沢	さいたま	草加	合計
男		3	5	4	1	5			18
女		1	6		2	3	5	1	18
合計		4	11	4	3	8	5	1	36

④年齢別在籍児童数 (R2. 3. 1)

	幼児				小学生						中学生			高校生			合計
	未 満 児	年 少	年 中	年 長	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
男 児	2		1	1		2	2	1	1		2	1	2		1	2	18
女 児		1	1	1	1	1		1	2	1	1	1	2	2	1	2	18
合 計	2	1	2	2	1	3	2	2	3	1	3	2	4	2	2	4	36

⑤措置理由別児童数 (R2. 3. 1)

措置理由		幼児	小学生	中学生	高校生
家出	父				
	母				
	両親				
死亡	父				
	母		(1)	(1)	
	両親				
疾病	父				
	母				
	両親				
離婚		1	1	1	3
棄児					
虐待	身体的虐待	2	2	2	2

令和1年度事業報告

	心理的虐待		2	2	2
	性的虐待				1
	ネグレクト		1		
親の精神疾患			1	1	
服役				2	
未婚の母の子		2	3		
経済的理由		2	2		
里親委託解除				1	
その他					
合計		7	12	9	8

2. 年間行事（青木統括主任）

行事の種別	期日	実施内容
園内行事 学校行事 (全体)	4月	各学校入学式、保育園入園式、入園入学を祝う会
	5月	創立記念祭（さんあい祭り）、第四回同窓会開催（卒園生・元職員15名）
	6月	小学校運動会
	7月	ガーデンパーティー
	9月	中学校体育祭
	10月	保育園運動会
	12月	クリスマス会、さんあい大掃除&さんあいレストラン
	1月	もちつき・2分の1成人式
	3月	各学校卒業式、保育園卒園式、卒園卒業を祝う会
グループワーク 活動	4月	2HJ様「JA甘楽富岡野菜収穫体験」（小学生11名、職員4名） 「わくのびキャンプ①」長野県小諸市（小学生4名、職員3名）
	6月	「ボーリング大会&当事者イベント参加」（中高生6名、職員4名）
	8月	「児童福祉施設親善球技大会」Bブロック優勝（小中高20名、職員6名） 「夏の思い出」中高生BBQ・川遊び（中高生12名、職員5名）
	9月	「防災学習センター体験」危機管理タスク（小学生6名、職員3名） 「わくのびキャンプ②」長野県小諸市（小中学生5名、職員3名）
	11月	「醬遊王国工場見学」（小学生10名、職員5名）

令和1年度事業報告

	2月	「バレンタインお菓子作り」(小学生女児6名、職員4名)
	3月	「さんあいキッズニア」(幼児小学生15名、職員6名)
カフェさんあい ヒップホップ アロマセラピー		宣教師ジョーンズ先生「英語で遊ぼう」 10・1月実施 インカさん「ダンス教室」 4・10・11・3月実施 丸目玲子さん「アロマセラピー(職員対象)」 5・9月実施
招待関係 地域行事 深谷西島教会 高校生自立支援 セミナー 等 (施設又は居室 で対象児童を調 整)	4月 5月 6月 7月 8月 10月 11月 12月 1月 3月	深谷西島教会「イースター復活祭」(小学生、職員) 大宮アルディージャ様観戦御招待(小学生1名、職員1名) 深谷西島教会「花の日礼拝」(小学生、職員) 深谷祭り「子ども神輿参加」(小中学生、職員、ボランティア) 山田昇記念財団様「赤城山自然体験会」(小中学生14名、職員8名) 「おかあさんといっしょコンサート招待」(幼児8名、職員6名) むさしの村様「50周年記念御招待」(幼児9名、小学生14名、職員19名) コンパスナビ様「吉本興業オオカミ少年の世渡り塾」(全員参加) 深谷西島教会「子ども祝福式」(小学生、職員) 軽井沢おもちゃ王国様御招待(幼児小学生22名、職員等17名) バンビの森イベント(小学生4名、職員3名) 熊谷福音キリスト教会「こどもクリスマス」(小学生3名、職員1名) 浦和レッズ様観戦御招待(小学生1名、職員1名) コンパスナビ様「クッキング教室」(小中学生女児4名、職員2名) 深谷西島教会「子ども進級式」(小中学生、職員)
櫛挽子供会行事 (小学生対象)	7月 8月 9月 10月 12月 3月	七夕祭り飾り作り(地域婦人会合同) 櫛挽夏祭り(地域自治会行事) 岡部地区体育祭 レクリエーション大会(岡部公民館) クリスマス会(地域婦人会合同) 歓送迎会 ※新型コロナの影響で中止

令和1年度事業報告

各部屋行事(特別外出・宿泊行事)	8月	栃木県那須ツリーハウスキャンプ&サファリパーク、飯能市キャンプ&クライミング体験、那須コテージキャンプ&水族館、東京ディズニーシー&フジテレビ見学、東京ディズニーランド、富士急ハイランド&フルーツ狩り
(部屋外出行事)	通年	映画館、鉄道博物館、プール、群馬サファリパーク、ぐんまこどもの国、恐竜博物館、ボードゲームステーション、多摩動物公園、カラオケ、森林公園、地図と測量の科学館、こども自然動物公園、上野の森美術館、上野動物園、プラネタリウム、池袋アニメイト、ららぽーと富士見、お台場、東京ドームプロ野球観戦、アクアパーク品川、日帰り温泉、東武動物公園、東京遊びマーレ、 等々 ※その他、買物・外食・地域まつり、初詣等への外出がある

3. 職員研修実績（青木統括主任）

主催団体・機関	研修会内容
教育局、深谷市	児童虐待防止支援研修、虐待防止講演会、虐待防止ネットワーク会議
県社協	初任者向けバック研修（全6回）、人材育成研修、感染症専門研修、チューター養成研修、新任職員フォローアップ研修、採用力アップ研修、福祉未経験者向け研修
全養協	全国児童養護施設長研修、家庭支援専門相談員研修、中堅職員研修
埼児協 埼児研	県外視察研修（佐賀県）、心理職研修、施設間職員派遣研修（愛泉寮、若竹ホーム）、埼玉県児童福祉施設指導者研修、調理関係研修、新任職員研修全3回、前年度新任フォローアップ研修、基幹的職員養成研修、虐待防止研修会
関東ブロック	関東ブロック施設長研修、関東ブロック職員研修
その他	SBIリーダー研修（東日本）、熊谷児童相談所講演会、資生堂スターズセミナー、キリスト教児童福祉連盟子育てワークショップ、ソウエルのメンタルヘルス講習会、OJTスキルアップ講習会、埼性研10周年記念講演会、埼性研研修会、働きやすい職場作り研修、中央児童相談所DV研修、関東ブロック母子協議会研修、埼玉県事業団自立支援研修、働き方改革研修、埼玉群馬高校3年生スターターズセミナー（さんあい会場）

令和1年度事業報告

施設内研修 主催セミナー 講演会 等	* 施設内職員研修 さんあいスーパーバイザーである「まめの木クリニック」の藤井和子先生によるペアレント・トレーニング及びケースカンファレンスを実施。 ・ 第一回 5/29（水）「発達障がいと特徴、ペアレント・トレーニングとは？」 ・ 第二回 7/10（水）グループワーク「褒め方、肯定的な指示の出し方」 ・ 第三回 9/25（水）「男の子ケースカンファレンス」 ・ 第四回 11/27（水）「女の子ケースカンファレンス」 ・ 第五回 3/4（水） ※新型コロナの影響により中止 * 「アンガーマネジメント研修会」 9/11（水）全職員＋近隣施設職員 コンパスナビ講師 岸田輝美 氏（ビューティフルマナー株式会社） * さんあい合同セミナー「子どものネット利用状況と情報モラル教育の実践」 LI NE株式会社専属講師 荒川倫子 氏 1/29（水）全職員＋近隣施設職員
----------------------------------	--

4. ケアワーク総括

① 女の子ブロック総括（河村主任）

令和元年度の女の子ブロックは、幼児4名、小学生6名、中学生3名、高校生5名の計18名の児童と、新任職員4名が加わった10名の職員でスタートしました。年度末には高校生2名と小学生1名が退所しました。高校生1名は看護師を目指すために進学し、夢を叶えるための第一歩を踏み出しました。1名は農業関係の会社に就職し、雨の日も風の日も頑張っているようです。小学生1名は退所の何ヶ月も前から心の準備をしていたようで、退所時には職員や子どもたちに手紙を書いてくれました。今では皆の宝物です。

お手伝いが大好きな児童が集まった【ねむのき】は、日頃からご飯の準備や洗濯物畳みを手伝ってくれるだけでなく、小さい子への声掛けもとても上手。とても頼もしく、職員も勉強になりました。夏の特別部屋外出では子どもたちの希望でディズニーシーへ行きました。夜遅くまで職員と語り、普段出来ない話で盛り上がり、楽しい外出になりました。

元気いっぱいな【いちょう】は、しっかり者の中高生中心に、居室内では甘えん坊、でも外に出るとしっかり出来る子がそろっていました。夏の特別外出は富士急ハイランドへ。職員も童心に返り楽しむことが出来ました。年度途中で幼児1名が里親委託になり、寂しい気持ちもあったかと思いますが、12月に新しく中学生を迎え、また新しい【いちょう】でスタートしました。

普段は一人ひとりの個性が強く、なかなか課題も多いですが、行事の際には素晴らしい団結力を魅せる【ポプラ】。さんあい祭りでの部屋紹介は、事前の練習もバッチリで感動ものでした。夏の特別外出はディズニーランドへ。笑顔いっぱいの外出になりました。高3児童のお別れ会も、中高生中心に皆が一致団結。色々とあった1年でしたが、最後は笑顔いっぱいの素敵なお別れ会になりました。

令和1年度事業報告

職員も1人ひとりが様々な困難に立ち向かい、1人のケアワーカーとして成長出来た1年だったと思います。4月当初は初々しかった新任職員も、年度の終わりには立派な「ケアワーカー」の顔つきになりました。退所を控えた児童が2人いた事で、退所までの流れや退所後の支援機関、また受験の流れや奨学金について学ぶことが出来、子どもの人生に大きく関わっているという責任の重さを実感する事が出来ました。小学生が沢山いることで毎日宿題の対応に追われる職員は、今では小学生を見るプロになりました。中高生が多くなってきた事で対応困難な場面も増え、まだまだ課題は山積みですが、チームで悩みや痛みを共有しながら、団結力を深めていきたいと考えています。職員1人ひとりが「子どもと一緒に成長していく」という謙虚な姿勢を忘れず、思いやりを持って、子どもたち1人ひとりにより良い支援が出来るよう頑張っていきたいと思います。



② 男の子ブロック総括（加藤主任）

今年度は年度当初に未満児2名の可愛い仲間を迎えスタートしましたが、昨年度末から入院している児童2名が戻ってきたのは夏になってしまったため、全児童が揃ったのは8月となってしまいました。

幼少期から入所している児童がさんあいの中で育ち、高齢児が増えてきた近年。高齢児特有の課題もたくさんありましたが、様々な立場の職員の介入もあり、何とか1年乗り切ることが出来ました。

今年度は中3生2名、高3生2名が在籍しており、進路選択をしなければいけない児童が多い1年でもありました。職員は子ども達と一緒に進学先、進路先の話を早くから始め、子どもと共に考え、子ども自身が自己決定出来るように支援してきました。その甲斐あってか、無事、中3の2名は志望校に合格し、高3の2名の内、1名は専門学校への進学、1名は就職と進路を決定することが出来ました。

また、今年度は児童だけでなく、職員も病欠で休みがちになる等、大変な1年でもありました。改めて、体調管理の徹底、自己管理の必要性を感じる1年にもなりました。

今年度は高3生2名に加え、家庭引き取りとなった児童1名、自立援助ホームに移動した児童1名と4名の児童が退所となりました。男の子ブロックは3ホームしかないため、来年度は全ての居室で新入所児童を受け入れることとなります。また、高齢児が減り、在籍児童の平均年齢も低くなるため、新たな課題も表出されることだろうと思います。様々な環境の変化はありますが、これからも精一杯の愛情を注ぎ、子どもと共に成長していけたらと思います。



令和1年度事業報告

③ 一時保護所「オリーブ」(柳井リーダー)

1年間で33名の一時保護児童を受け入れました。保護理由は虐待やネグレクト、家族とのトラブル、家族の入院など様々でしたが、退所後は約8割が家庭復帰、残りが施設措置や他の保護所等、それぞれの場所に見送りました。最短3日間、最長362日間の保護期間中は一日の流れに沿い、学習に遊び、掃除を分担したり、動物のお世話もしたりと気持ち良く、安心して安全に暮らせるよう努めました。また、週末の図書館や買い物等の外出、子ども達の要望を聞きながら映画等の外出もしました。今年度も戸外遊びや園内外の行事を通し、本園児童との関わりも持ちました。他児との関わりを通し、時には喧嘩をすることもあります、思いやりの気持ちを育んでいきたい思います。



④ ファミリーホーム「三愛茜の里」(野口管理者)

1. 子どもたち一人ひとりの最善の利益の追求/地域との連携と貢献

養育者がホームの開設以来、当地の民生児童委員として活動する中で、ショートステイの受け入れ、お年寄りの見守り、成年後見活動を通し「ファミリーホーム三愛茜の里」が寄居町の中で徐々に認識されるようになりました。また、地域活動をしていく中で、地域の方や子どもの友達なども遊びに来やすい環境になりました。これからも「三愛茜の里」が地域に開かれた場所として、そして子ども達も地域の一員としてより一層に関係を深め、育まれるように努めていきたいと思っています。

2. 次世代への引継ぎ

昨年は、ホーム職員の退職に伴う事業の次世代への引継ぎについて運営委員会で協議いたしました。ホームでは現養育者が退職する時期までに、子ども達の為に次世代に引き継いでゆくという方針を確認いたしました。法人内にホーム養育者としての適任者がいない場合、新たに人材確保が必要になりますが、子ども達の養育についての考え方、資質、経験などを十分に考慮した人材の発掘をしてゆきます。また、令和2年4月1日から施行された児童福祉法改正後のファミリーホームの養育者の資格要件は、現行の資格要件に上乗せして、養育里親であることを要件とします。法人は専門家集団という利点を生かしつつ里親家庭に近い養護を目指してゆくことが求められています。



3. 生活環境の整備

昨年の11月には「赤い羽根共同募金」NHK歳末助け合い募金の受配で、給湯時に発電をするエネファームを導入することができました。ここに至るまで、皆様に沢山の支援を賜ったことに深く感謝すると共に、これからも地域に根ざしたホーム運営に努めていきます。

令和1年度事業報告

⑤グループワーク（青木統括主任）

さんあいのグループワークの大きな目的は、個別性の質を上げることにあります。これは子どもだけでなく職員にとっても大切なことです。職員は自分の強みを活かしながら目的を持った活動を企画し、参加した子どもの望ましい行動を褒め、自信に繋げ、達成感や協調性を感じられる活動を目指しています。

令和1年度は幼児、小学生、中高生の担当職員を決め、チームごとに企画しました。その他、招待キャンプや親善球技大会などもグループワークとして実施致しました。どの活動も子ども達の生き生きとした表情、好奇心、探求心が見られ、今後につながる良い体験になりました。

4月 「野菜収穫体験とカレー作り」（JA群馬甘楽富岡）小学生11名、職員4名（2HJ様主催）

4月 「わくのびキャンプ①（長野県小諸市）」小学生4名、職員3名（他施設交流・自然体験）

6月 「ボーリング大会&当事者映画試写会参加」中高生6名、職員4名（当事者交流）

8月 「児童福祉施設親善球技大会」Bブロック優勝 小中高生20名、職員6名（県内他施設との交流）

8月 「夏の思い出BBQ&川遊び」中高生12名、職員5名（同年代野外活動）

9月 「防災学習センター体験」小学生6名、職員3名（危機管理タスク企画）

9月 「わくのびキャンプ②（長野県小諸市）」小中学生5名、職員3名（他施設交流・障害者交流）

11月 「醬遊王国工場見学」小学生10名、職員5名（社会体験）

2月 「バレンタインお菓子作り」小学生女児6名、職員4名（イベントスキルアップ体験）

3月 「さんあいキッズニア」幼児小学生15名、職員6名（職業お手伝い体験）



令和1年度事業報告

⑥子育てサロン「夏みかん」活動（野田里親支援専門相談員）

実施日	参加者	内容
5月12日（土） 11時～15時	さんあい 23人 里親 7人 ボランティア2人	収穫体験（しいたけ） 中間平からの下りハイキング 沢遊び、木工
7月14日（土） 11時～15時	さんあい 17人 里親 7人	ジャンケンゲーム、B玉キャッチ フルーチェ、おにぎり、そうめん作り クラフト
9月15日（土） 11時～15時	さんあい 22人 里親 6人	沢遊び、かき氷 レトルトカレーの昼食
12月1日（土） 11時～15時	さんあい 17人 里親 5人	収穫体験（みかん）、バター作り 宝探し、ホットケーキ作り、木工
1月19日（土） 11時～15時	さんあい 17人 里親 8人	収穫体験（みかん）、カルタ大会 漬物作り、お餅作り、おにぎり作り
3月15日（土）		中止（コロナ対応）

* 里親家族、未委託里親の方が参加。さんあいの子も達との交流を深めていただき、未委託里親さんには家族のように一日を過ごしていただいています。また、学校等が休みの時に家庭外泊させていただける里親さんの登録を目指しての交流の場としています。



令和1年度事業報告

5. 各タスクチームの活動報告

① 広報タスクチーム（松本事務長）

【成果】

- ・前年度より、さんあい新聞を4月、6月、10月、1月の年間4回発行することにより、よりリアルタイムに話題を提供することができました。
- ・新聞の印刷をインターネットで業者に外注することにより、施設で印刷するよりもコストダウンをすることができました。
- ・新聞の送付数も年々増えて、令和元年度は500通以上を送付する事ができ、支援者の拡大につながりました。
- ・市内のお店に置かせて頂いている募金箱の回収を行いました。
- ・ホームページをリニューアルして、より見やすく親しみやすい物へと改善したことによって、ホームページからの問い合わせが増え、見学者希望、ボランティア希望などの問い合わせが増えました。また、クリスマスの時期には、ホームページを見たハーレーサンタや、サンタルギーニ、Vチューバーの方からの寄付などがありました。
- ・支援者の方や、施設に暑中見舞いや年賀状を出しました。
- ・10月と1月に高崎市在住の宣教師、ジョーンズ先生一家による「英語であそぼ」を開催しました。

【課題】

- ・さんあい新聞を今よりももっと読みやすく、また、マンネリにならないように新しいアイデアを出し、新鮮な話題を盛り込めるようにしたいと思います。
- ・なかなか時間が取れずに募金箱の回収に行けないので、今後繋がりを切らさないような対策が必要です。
- ・カフェさんあいを再開する。



② 食育タスク活動報告（坂田栄養士）

食育タスクの3本柱、行事食、さんあいレストラン、エコの日、を中心に活動しました。

行事食は年中行事に合わせ計画実施し、ユニットごとのアレンジも加わり素晴らしい出来栄で、子どもたちの喜ぶ姿が見られました。

さんあいレストランは、子どもたちの学校の振替休日や大掃除などを利用して開催しました。在庫の食材を活用してのメニューですが、毎回好評いただいています。

エコの日は完全に定着しました。残り食材を上手く活用し、子どもたちの好みに合わせた食事が提供できています。職員、子どももエコに対する意識も高まってきています。



令和1年度事業報告

嗜好調査、栄養指導も各1回、実施することができました。子どもたちの好みを把握したり、食べものの好き嫌いについて話をし、バランスよく食べることの大切さを伝えました。今後も、子どもたちの食事に対する意識を高められるよう活動していきたいと思います。

③ 職員研修タスクチーム（青木統括主任）

【主な活動内容】

- ・さんあいSV藤井和子先生による園内研修「ペアレント・トレーニング研修」の企画運営（ケースカンファレンスも含め全四回実施 ※第五回は新型コロナの影響で中止）
- ・「アンガーマネジメント研修会」開催 ～怒り・イライラとの付き合い方、向き合い方～
- ・さんあい合同セミナーの開催 ～子どものネット利用状況と情報モラル教育の実践～

【成果】

- ・さんあい養育の中心となる「ペアレント・トレーニング」を基本とした施設内研修です。第一回は里親、他施設職員も参加し、発達障がいの特徴とペアレント・トレーニングの基本を学びました。「望ましい行動」に焦点を当て、「褒める」を基本とした考え方やスキルは、被虐待体験や発達に特徴を抱える子どもを支援する私たちにとって、子どもとの良好な関係を築く大きなヒントになりました。
- ・第二回はさんあいベテラン職員がファシリテーターとなり、ペアレント・トレーニングの行動観察シートをもとに「効果的な褒め方」のグループワークを行いました。今後もさんあいの職員が後輩や他施設職員へ自分の経験や知識を伝える場を増やしていければと思います。
- ・対人援助という仕事において対象者が子どもであっても怒りやイライラを感じる場面は当然のようにあります。もちろん、上司部下といった同僚や職場体制、自身のプライベートにおいても怒りを抱えることがあるでしょう。こうした「怒り」との上手な向き合い方、感情のコントロールの方法について全職員で学びました。第一次感情の見極めや自分なりの落ち着く言葉など、日々の支援の中で活かしていきたいと思います。
- ・現代の子どもたちが置かれている情報化社会の実情と共に、子どもたちの安全なネット活用について大人としてどう支援できるのかをLINE株式会社専属講師の方より学びました。年代により大きな差が出る価値観や感覚に対し、どのように伝えたらいいのかをわかりやすい教材で学ぶことができました。ネット社会という現実についてまずは大人が学ぶことの大切さを実感しました。



④ 職員育成タスクチーム（青木統括主任）

【タスクの目的】

職員の育成に関する全般的なことについて状況を確認していく。育成については、さんあいの理念や目標を職員が理解し、継承していくことができるように考える。

【主な活動内容】

- ・ 月一学習会の企画実施（主に1～2年目の職員が対象）
- ・ 職員の他施設視察研修（今年度は県内の施設を中心に実施）
- ・ 職員のメンタルヘルス

【成果】

- ・ 以下の内容で全8回実施。新任職員はさんあい養育での具体的な取り組み、考え方について学ぶ機会となり、講師を務める先輩職員は自身の振り返りと共に、後輩への「伝え方」「教え方」を身に着ける機会になっています。

4月 F H三愛茜の里見学（1年目） 対応：野田、松本、野口ホーム長
5月 「各マニュアル、規約等についての再確認」（1年目） 担当：主任3名
5月 「リーダー学習会」（リーダー） 講師：浅野主任、青木統括
6月 「児童相談所の機能とF S W業務について」（1年目） 講師：F S W
7月 「リスクマネジメント学習」（全職員） 講師：高柳F S W、浅野主任
9月 「子どもの権利擁護のためのガイドブック学習」（1年目） 講師：青木統括
10月 「里親制度とその現状・里親支援専門相談員の役割」（1年目） 講師：野田里S W
1月 「権利擁護ガイドブックの事例検討会・演習」（1～3年目） 講師：統括、F S W、主任

- ・ 「他施設視察研修」として、経験年数別に下記の視察研修を実施。事前にどのようなことを学びたいかを検討し先方へ依頼することで、職員自身が知りたいこと、学びたいことの情報を効率よく得ることができた。身近な県内の施設を対象とし合同の昼食会を開催したことで、横の繋がりというネットワークやお互いに向上しようという意識が持てたように感じる。

- ◆養育ビジョンチーム9名視察先（7月）： 東京育成園（児童養護施設）
- ◆1～2年目職員6名視察先（9月）： 泰山木のある家（児童養護施設）浅野主任引率
- ◆1～2年目職員6名視察先（10月）： 江南（児童養護施設）高柳F S W引率
- ◆3年目以上10名視察先（11月）： 若竹ホーム（児童養護施設）ベアーズホーム（自立援助ホーム）
- ◆3年目以上10名視察先（1月）： 愛泉寮 ※都合により中止
- ◆一時保護職員等6名視察先（2月）： あいぱれっと（さいたま市児童相談所一時保護所）

- ・ 職員のメンタルヘルスにおいては、新任振り返りS V、業績感謝面談と共に、日頃の職員の状態について気になる情報があればタスクで検討し、必要に応じて心理士との面接や施設長との面談を実施。状況により休職等も利用しながら職員と一緒に考えてきました。

⑤ チュータータスクチーム（河村主任）

令和元年度のチュータータスクは、1年目職員の育成と同時に、1年目職員を指導していく先輩職員の育成や、現場の職員のモチベーションアップに繋がるような取り組みを実施してきました。具体的には、①学期ごとの育成計画の作成と振り返り、②タスクメンバーと1年目職員との面談、③2年目職員の2日間の他ブロック体験、④リーダー勉強会（ティーチングとコーチング）、⑤現場職員のモチベーションをあげる為の「プラスのストロークのワーク」を実施しました。1学期中に1年目職員との面談をした事で、1年目職員の悩みを知る事が出来、抱え込みを防ぐだけでなく、早い段階でフォローする事が出来たと考えています。また、2年目職員の他ブロック体験では、普段は入る事のない居室に入る事で、お互いの居室の良い部分や課題に気付く事が出来、貴重な経験になったようでした。学期に1回のプラスのストロークのワークは、職員1人ひとりに日頃の感謝を伝えたり、良い部分を認め合う良い時間になりました。取り組み内容としてはまだまだ課題は多いですが、今後も職員一人ひとりが目標を持ち、子どもたちと一緒に成長していけるような取り組みを考えて実施していきたいと考えています。

⑥ 生教育タスクチーム（浅野主任）

今年度の生教育タスクグループの活動は、見直していたグループワークを再開しました。

グループワークは、幼児2回、小学校低学年2回、小学校高学年2回、中高生2回を実施。内容は、境界線やプライベートゾーンを中心に行いました。初の試みとしては、中高生を対象としたLINE講座を実施しました。職員向けの研修は、2回実施。性情報リテラシー講座と講師を招いてのLINE講座を行いました。子どものネット利用状況と情報モラル教育の実践について学び、現場で職員と子どもが取り組めるような学習ができました。

児童間の関係性では、性被害・性加害防止を目指し、例年通り関係性チェックを7月と2月に実施しました。その他にも年5回のトイレ新聞を発行。アニメやドラマの内容についても

不適切な内容を職員が把握できるよう情報共有も行いました。毎年恒例になっている2分の1成人式も実施し、子どもたちにとっても大切な行事の行事となっています。念願のガイドブック作成は完成には至らず残念でしたが、今後につなげていきたいと思っています。次年度も、より生活に根差したさんあいならではの生教育を施設の文化として根付かせていくことが出来るように一つひとつの取り組みを大切に行っていきたいと思っています。



令和1年度事業報告

⑦ 子どもの権利擁護タスクチーム（高柳家庭支援専門相談員）

子どもの権利擁護タスクでは、子ども向けに権利ノートの説明、職員向けに権利擁護についてのアンケートを実施しました。職員向けアンケートでは以前からあるさんあいの約束事が、現代を生きる子ども達に適しているのかを改めて考えるきっかけとなりました。職員間でロールプレイも行い、子どもの視点に立つ事の大切さも実感しました。一定の規律の中で子ども達の意見をどう汲み取るか。今後も課題と向き合っていきたいと思います。



⑧ 療育タスクチーム（加藤主任）

昨年度発足された療育タスクも今年度で2年目となり、昨年度の反省を生かしながら運営する1年となりました。子ども達にも「からトレ(からだのトレーニング)」、「ことトレ(ことばのトレーニング)」の呼び名が浸透し始め「次、ことトレいつ？」等の言葉が聞かれるようになりました。プログラムの定番も決まり、ことトレでは顔を使った準備体操からスタートし、笛ラムネを吹いて終了。からトレでは「グーチョキパーで何つくろう」の準備体操からスタートし、トランポリンで終了。毎回変わらないものを取り入れることで、子ども達も流れが分かり始め、意欲的に活動に取り組むことが出来ました。



また、昨年度末に申請していた助成金を通り、療育タスクとしてタブレットを購入して頂くことが出来ました。今年度は物品購入と使用するアプリのインストールで終了となってしまいましたが、来年度は実際に活用をスタートさせ、身近に療育が出来る環境を設定することで子ども達の成長を促し、見守っていかれたらと思います。



令和1年度事業報告

⑨ 学習支援タスクチーム（野口リーダー）

学習支援タスクでは、中高生のテスト対策学習会や小学生の夏休みの宿題確認会を実施しました。また、昨年度は高校入試を控えた受験生が4名いたこともあり、初めての試みとなる受験対策学習会や模擬試験を実施しました。中高生のテスト対策学習会では希望者だけではあるが定期テスト前に実施、学習をする時間を設けることが出来ました。各々が学習をし、疑問がある時は教えていく事が出来ました。

小学生の宿題確認会では、ほとんどの小学生が宿題を終わっており、日頃の頑張りを確認することが出来ました。受験生の対策学習会では、参加者が0名になることは無く、事情がない限りほとんど参加をすることが出来ました。模擬受験とし、受験前の最終日曜日に1日かけ受験時間通りの試験時間で模擬試験を実施できました。採点も返却し、それぞれの不正解の問題を確認することが出来ました。最終的に受験生の頑張りのもあり全員が無事に志望校に合格することが出来ました。



⑩ アニマルセラピータスクチーム（村尾リーダー）

【成果】

- ・ 狂犬病ワクチン、ノミ・マダニ駆除薬を実施する事が出来た。
- ・ ポニーのお手入れを、年間12回実施することが出来た。

5/18（土）、6/29（土）、7/27（土）、8/24（土）、9/28（土）、10/19（土）、11/9（土）

12/15（土）、1/25（土）、2/22（土）、3/14（土）、3/29（日）

- ・ ボランティアさんにより、ポニーのトリミングを行う事が出来た。
- ・ 春と冬に、ぶどうの木大掃除を行い清潔な環境を整えた。
- ・ 児童希望によるウサギの散歩を、専用リードを購入し実施する事ができた。
- ・ 【アニマルクラブ】を発足する事が出来た。クラブ会員は募集により8名参加。

アニマルクラブでの活動として、

＊ 年間4回の話し合い開催（7月、10月、1月、3月）

＊ 11/4（月）：ヤギのエサやり体験

＊ 11/14（木）：動物愛護フェスティバル参加

＊ 2/22（土）：ペットショップ見学

を実施する事が出来た。

令和1年度事業報告

【課題】

- ・ウサギ小屋の環境の充実を図る。(日当たり面、エサ置き場 等)
- ・児童の希望により、個々で飼育出来る小動物の検討。
- ・動物愛護センターとの繋がりを継続し、セラピーの要素も含めた動物との関りの時間を定期的に作れるような企画を考える。
- ・生き物の命の大切さを年齢ごとに学ぶ機会を作る。
- ・ぶどうの木周辺の整備に力を入れる。



⑪ アフターケアタスクチーム（青木家庭支援専門相談員）

例年通り「同窓会」と「もちつき」を企画、「同窓会」には20名近くの卒園生・元職員の方々が参加、楽しい時間を過ごしました。高校生や卒園生への個別の支援として各関係機関と協力をしながら行っている事業があり、今年度も「実家便」の利用と「ブリッジフォー・スマイル巣立ちセミナー」へ参加をしました。「実家便」では品物を送る際に職員からのメッセージを同封していますが、品物が届くと「届いたよ」「助かった」「手紙沢山入っていて嬉しかった」という連絡が卒園生から届き近況も確認できています。「巣立ちセミナー」も高校3年生を中心に参加していますがお金の使い方や社会へ出た後に必要な事などを学ぶ機会となっており、退所後の支援もいただいています。この春は、4名の子ども達が高校を卒業し新しい環境へと巣立って行きました。今後も色々な機関と協力しながら施設で出来るアフターケアについて考えていけると良いと思います。



第4回同窓会の様子

⑫ 危機管理タスクチーム（野田里親支援専門相談員）

- ・子ども110番の家を子どもたちと一緒に徒歩で確認
登校班の子どもたちと一緒に通学路を歩き、子ども110番の家の場所を確認し、不審者に遭遇した場合の有効な避難方向について子ども達と確認しました。
- ・薬の危険性についての学習（協力：埼玉よりい病院）
日常医療で困ったことや疑問に思っていることを中心に詳しく教えていただきました。また、わかりやすい対応マニュアルを作成していただきました。

令和 1 年度事業報告

・熱中症予防、インフルエンザ予防について子どもたちと一緒に学びました。また、防災センターにて体験学習をしました。水分の取り方、外出するときの服装について。手洗いうがいの手順や正しいやり方を学びました。

・地震体験、煙体験、強風体験をしました。

・防犯ブザーの定期点検

子どもが日常使うため故障が多く、また電池切れもあるため毎月 1 回の点検を行っています。

・自転車の整備調整

子どもの体に合った自転車の調整を行い、不具合について点検整備しました。

・救急救命研修（AED、心肺蘇生）

・不審者侵入時の緊急対応を深谷警察署の方から指導していただきました。



⑬ 防災訓練活動報告（野田里親支援専門相談員）

月	日	内容
4	2 1	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方）
5	1 9	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方） 携帯電話からの通報訓練
6	1 6	夜間の火災避難訓練 携帯電話からの通報訓練
7	2 4	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方）
8	2 7	総合避難訓練（放水訓練・通報訓練） * 消防署立ち合い（届け出） 消火栓の不具合の為放水訓練できず（その後修理済）
9	2 1	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方）
1 0	2 0	日中の地震避難訓練・消火訓練（取り扱い方） * 昼食は非常食
1 1	1 7	夜間の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方） 携帯電話からの通報訓練
1 2	2 7	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方）
1	2 6	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方）
2	2 2	日中の火災避難訓練・消火訓練（取り扱い方）
3	2 8	日中の地震避難訓練・消火訓練（取り扱い方） * 消防署届け出

令和1年度事業報告

6. 自立援助ホーム「三愛子ひつじ寮」設立準備活動

①設立経緯

2016年	児童養護施設さんあい職員による1泊研修の議論の中で、退所児童のアフターケアの強化があげられ、具体的な取り組みとして法人による自立援助ホームの設立を中期目標の中に入れる。
2018年	こども安全課に計画の共有をし、理解を得る。熊谷市・深谷市内中心に大型住宅の物件を探し始めるが、大家さんの理解が得られず進展なし。
2019年	かねてより大型物件の依頼をしていた業者より、以前に社員寮として使用していた本物件を紹介され、理想的な物件であったので仮契約を結ぶ。職員募集を開始すると同時にこども安全課に連絡、状況の共有と具体的な開設手続きの指導を頂く。その後、家主との合意を得て必要なホーム工事を行う。
2020年	2月、賃貸契約締結後に公益財団法人山田昇記念財団より必要な電化製品や家具等の支援を頂く。3月、県へ開設申請書提出。熊谷児童相談所と協議を経て内覧会開催。4月1日、県より認証、開設に至る。

②感謝の言葉

児童養護施設の枠組みでは手が届かない社会的養護を必要とする子どもたちのために「三愛子ひつじ寮」は、計画から4年余りの歳月を経て2020年4月1日に開所に至りました。ここまで、ご理解・ご指導くださいました県こども安全課、熊谷児童相談所、県下自立援助ホームホーム長の皆様、設立の趣旨に賛同され家電製品や家具等のご支援・ご協力を頂きました公益財団法人山田昇記念財団様、そして、この場所での新たな寮の受け入れに関して、ご理解下さいました近隣住民の方々に、心より感謝申し上げます。



③名前の由来



法人理念の土台である聖書には、群れからはぐれた1匹の子ひつじのために他の99匹をのこして探し出す羊飼いのたとえ話があります。これは、「社会からはぐれた最も弱いものに対するケア」という福祉的な意味に置き換えることができます。新たに開設される「三愛子ひつじ寮」が、社会からはぐれてしまった子やはぐれそうな子たちが安らげる場、自立する場にしたいという思いを込めて命名いたしました。

令和 1 年度事業報告

7. 理事会・評議会開催の報告

令和元年5月31日	定例役員会	【議題】 1、平成30年度事業報告の件 2、平成30年度補正予算の件 3、平成30年度収支決算報告の件 4、監事による監査報告 5、平成30年度資産総額変更の件 6、評議員候補者の推薦について 7、役員改選の件 8、就業規則変更の件 9、評議員会招集の件 10、その他報告
令和元年6月14日	定時評議員会	【議題】 1、平成30年度事業報告の件 2、平成30年度補正予算の件 3、平成30年度収支決算報告の件 4、平成30年度資産総額変更の件 5、役員選任の件 6、就業規則変更の件 7、その他報告事項
令和元年6月14日	第1回役員会	【議題】 1、新役員による理事長選出 2、その他報告事項
令和2年3月11日	第2回役員会	【議題】 1、新理事推薦の件 2、令和元年度補正予算の件 3、令和2年度事業計画の件 4、令和2年度収支予算の件 5、定款変更の件 6、児童自立生活援助事業の開設の件 7、就業規則変更の件 8、給与規定変更の件 9、管理規程変更の件 10、経理規程変更の件 11、評議員会招集の件 12、その他報告事項
令和2年3月18日	第1回評議員会	【議題】 1、新理事選任の件 2、定款変更の件 3、その他報告事項

8. 「思いやり」の報告

さんあいの養育目標は「思いやりのある子」です。そしてその実践として、地域から国、そして世界の人々に対して私たちの支援の輪を広げることを標榜しています。令和1年度は、クリスマス献金とバザー等の売り上げ金の一部を用いて以下のような支援をすることができました。感謝を持ってご報告いたします。

- **さんあい祭りの売り上げや寄付金**

- ・ 97, 122円をタイの貧困家庭の子どもたちへの支援金として寄付いたしました。



- **子どもたち、職員、クリスマス会ゲストからのクリスマス献金**

- ・ 43, 519円をシリア難民の支援金として寄付いたしました。



令和1年度事業報告

写真でみる令和1年度



入園・入学を祝う会（4月）



めぐみ保育園入園式（4月）



わくのびキャンプ（5月）



さんあい祭り（5月）



小学校運動会（6月）



さんあいレストラン（6月）

令和 1 年度事業報告



じゃがいも掘り（6月）



生教育（7月）



くしびき子ども会 セタ飾り付け（7月）



ガーデンパーティー（7月）



夏の特別外出（8月）



親善球技大会（8月）

令和1年度事業報告



すいかの収穫（8月）



深谷まつり（8月）



岡部中学体育祭（9月）



ピアノボランティア（10月）



ジョーンズ先生の英語で遊ぼう（10月）



ハロウィーン仮装（10月）

令和1年度事業報告



台風19号被害（10月）



子ども祝福式（11月）



さんあいセミナー（11月）



軽井沢おもちゃ王国招待（11月）



アニマルクラブ 動物愛護フェスティバル参加（11月）



丸紅基金助成金贈呈式（12月）



島村めぐみ保育園 降誕劇 (12月)



ハーレーサンタ来園 (12月)



サントルギーニ来園 (12月)



クリスマス会出し物 (12月)



年末大掃除 (12月)



お餅つき (1月)

令和 1 年度事業報告



近隣農家さんからの野菜の差し入れ（2月）



ヒップホップダンス（2月）



卒園・卒業を祝う会（3月）

令和1年度事業報告

さんあいブログより～

「お見送り」

いよいよ退所の日が来たAちゃん。みんなで最後の昼食をとった後、同じホームの子たちに手伝ってもらって荷物を車に積み込んだ。園にいる子どもたちと職員がみんな玄関に集まってきた。そして自然とお別れのセレモニーが開かれる。セレモニーと言っても形式ばったものではない。子どもたち一人ひとりからお別れの言葉、そして次は職員からの言葉、最後は本人の挨拶という感じに流れて行く。声をあげて泣くもの、無表情なもの、お道化るもの、様々なリアクションだが、みんな寂しいのだ。

「さようなら、頑張って！」 お別れ時の常套句だ。でも、幼児さんのころから高校を卒業するまでここで生活していたAちゃんにとって、本人しかわからない重さと深さがあるに違いない。



令和 1 年度中の関係者のご支援と神様の恵みに感謝いたします！

“あなたのして欲しいことを、あなたの隣人にもしてあげなさい。”

(聖書)

児童養護施設は、保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする。（児童福祉法 第41条）

児童養護施設 さんあい

369-0212 埼玉県深谷市櫛挽15-2

電話 048-585-0605

Fax 048-585-0562

[Web サイト]<http://www.san-ai-jidouyouto.net/index.html>